

「HAP 2nd Meet The HAP Meeting」

特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women (通称 HAP)
今、HAP の活動に出会う、女性医療の課題にであらう
今回のテーマは、骨粗鬆症と生活習慣病の視点から

特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women (略称 HAP) は、女性のライフステージに応じた健康管理と疾病管理 (以下「ウイメンズヘルスケア」という) の改善とその向上を図るための情報を、広く一般女性および医療ならびに関連領域に従事する者に伝え、社会にウイメンズヘルスケアのあり方を提言する。それらの活動により女性の QOL 向上に貢献することを目的とする NPO 法人です。その目的を達成するため、本年度より保健医療者・関係研究者・実務者を対象に研修会を兼ねた「ビジョミーティング」を開催いたします。「女性医療ってどんな領域?」「HAP ってなあに?」「どんな活動をするの?」興味関心のある皆様の参加をお待ちしています。

記

日 時 : 平成 21 年 11 月 29 日 (日) 13 時 00 分から 15 時 30 分

場 所 : お茶の水貸会議室 (お茶の水駅聖橋口 B1 出口すぐ横)

東京都千代田区神田駿河台 4-5-3 03-3518-8838

対 象 : 保健医療者、女性医療関係研究者・実務者

会 費 : HAP 会員 (1000 円)、非会員 (3,000 円) 茶菓子付き

内 容

レクチャー 1 : 内科領域ウイメンズヘルスレビュー (45 分)

講師 : 佐久間 一郎 先生

「耐糖能異常 (高インスリン血症) : ベイソ新適応症をふまえた最新情報」

レクチャー 2 骨粗鬆症治療における新たな視点 (45 分) 講師 : 太田 博明 先生

わが国における骨粗鬆症を巡る医療環境は最近 10 年間で大幅に進展しています。しかしせっかくの医療環境が医療の現場では効率よく利用されておらず、成果は充分とはいえません。その大きな理由の 1 つに治療されても継続率が低いということがあります。その解決策の 1 つとして、約 10 年前から英国で始まり、世界に広がりつつある専門職間連携教育 (Interprofessional Education, IPE) の活用があります。多職種間連携の重要な共通指標として「お薬手帳」があるのではないかと思う。今後事例教材 (モジュール) として「お薬手帳」の活用をともに考えましょう。

HAP でできること/HAP が目指すこと 全員討論

クロージング (まとめと次回への目標確認)

主催 : 特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women (略称 HAP)

事務局 住所 〒111-0032 東京都台東区浅草 3-4-1 K-BLDG

電話番号 : 03-5824-0495 FAX 番号 : 03-5824-0496

ホームページアドレス <http://www.hap-fw.org> 事務局担当 (宮原、高村、伊藤)

メールアドレス asakusao@hap-fw.org

HAP 2nd Meet The HAP Meeting」

特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women (通称 HAP)
今、HAP の活動に出会う、女性医療の課題にであう
今回のテーマは、骨粗鬆症と生活習慣病の視点から

日 時：平成 21 年 11 月 29 日 (日) 13 時から 15 時 30 分
場 所：お茶の水貸会議室 (お茶の水駅聖橋口 B1 出口すぐ横)
東京都千代田区神田駿河台 4-5-3 03-3518-8838
対 象：保健医療者、女性医療関係研究者・実務者

定員 (20 名) になり次第締め切ります。

参加申込書

「HAP 2nd Meet The HAP Meeting」

に申し込みます。

平成 21 年 11 月 29 日 (日) 13:00～15:30

御 名 前 : _____

御 所 属 : _____

郵便番号 : _____

住 所 : _____

電話番号 : _____

FAX 番号 : _____

メールアドレス :

参加人数 : _____ 人 (複数の場合ご氏名連記お願いします)

この情報は、HAP ご案内^o以外に使用しません。